



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 天昇電気工業株式会社

コード番号 6776 URL <http://www.tensho-plastic.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 安藤 武彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 横山 彰

TEL 042-788-1880

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	7,206	△0.3	△239	—	△365	—	△337	—
24年3月期第2四半期	7,228	△33.1	△159	—	△276	—	△259	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △332百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △164百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△21.28	—
24年3月期第2四半期	△16.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	16,641	2,171	11.0
24年3月期	16,616	2,486	13.0

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 1,824百万円 24年3月期 2,152百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定であります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,400	1.1	△180	—	△450	—	△390	—	△24.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	17,014,000 株	24年3月期	17,014,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,140,434 株	24年3月期	1,139,814 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	15,873,786 株	24年3月期2Q	16,172,676 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料の発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	P2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	P2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	P3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	P3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	P3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	P3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	P3
3. 四半期連結財務諸表 .....	P4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	P6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	P7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	P10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	P10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等から個人消費や設備投資に穏やかな回復の動きがみられるものの、円高継続による輸出産業の停滞、日中関係の悪化等により先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、売上高の確保に注力するとともに、経費の徹底的な削減を強力に推進いたしました。国内では、薄型TV部品から自動車部品・産業資材関係への業態切替を急速に進めております。

しかし、生産現場での研修、納入形態の確立等の経費が想定以上に発生しております。また、新規受注による生産立上げ時のロス等もあり、厳しい状況となっております。

一方、海外も、中国では、自動車部品向けコンテナ等の価格競争激化、ポーランドでは、主力生産品であります薄型TV部品の価格は、TV製品の価格競争の影響を受け、大幅に下落しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は72億6百万円（前年同四半期比0.3%減）となりました。損益面では、営業損失2億39百万円（前年同四半期は1億59百万円の損失）、経常損失3億65百万円（前年同四半期は2億76百万円の損失）、四半期純損失3億37百万円（前年同四半期は2億59百万円の損失）となりました。

セグメントごとの状況は、以下のとおりであります。

## 日本成形関連事業

薄型TV部品より自動車部品・産業資材中心に業態切替中であり、自動車部品関係は従業員研修等重点的に行い、早期立上げに注力しております。震災復興事業向けに受注活動を進めてまいりました産業資材は売上計上し始めております。

売上高は60億32百万円（前年同四半期比0.1%増）、セグメント損失2億80百万円（前年同四半期は2億9百万円の損失）となりました。

## 中国成形関連事業

中国国内では、価格競争の激化により、売上高の減少が続いております。

売上高は1億97百万円（前年同四半期比13.9%減）、セグメント損失45百万円（前年同四半期は43百万円の損失）となりました。

## ポーランド成形関連事業

薄型TV部品は数量的には好調に推移いたしましたが、価格面では厳しい状況となってきました。

売上高は8億48百万円（前年同四半期比1.6%増）、セグメント損失23百万円（前年同四半期は19百万円の損失）となりました。

## 不動産関連事業

国内3拠点の賃貸物件から構成されており、売上高は前年同四半期と同水準の1億49百万円、セグメント利益も前年同四半期と同水準の1億10百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、166億41百万円（前連結会計年度末比25百万円増）となりました。

流動資産は、現金及び預金が24億13百万円（前連結会計年度末比1億12百万円増）となった一方、受取手形及び売掛金が32億71百万円（前連結会計年度末比3億90百万円減）となったこと等により、71億24百万円（前連結会計年度末比3億34百万円減）となりました。

固定資産は、生産設備投資及び減価償却実施等により、95億17百万円（前連結会計年度末比3億60百万円増）となりました。

## ②負債

負債合計は、144億70百万円（前連結会計年度末比3億40百万円増）となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が34億72百万円（前連結会計年度末比34百万円減）、借入金33億90百万円（前連結会計年度末比2億円減）等により、82億50百万円（前連結会計年度末比3億12百万円減）となりました。

固定負債は、借入金51億33百万円（前連結会計年度末比7億18百万円増）等により62億20百万円（前連結会計年度末比6億52百万円増）となりました。

## ③純資産

純資産合計は、四半期純損失計上及び為替換算調整勘定の変動等により、21億71百万円（前連結会計年度末比3億15百万円減）となりました。

## ④キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億12百万円増加し、24億3百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純損失3億41百万円の一方、売上債権の減少による資金増加、法人税還付等により、4億52百万円の収入（前年同四半期は11億62百万円の支出）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、有形固定資産の取得等により、10億6百万円の支出（前年同四半期は4億43百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、長期借入金の新規借入等により、6億73百万円の収入（前年同四半期は2億35百万円の支出）となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績につきましては、平成24年5月15日に公表いたしました業績予想を修正しております。本日（平成24年11月9日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,301	2,413
受取手形及び売掛金	3,662	3,271
製品	251	331
原材料	508	567
仕掛品	84	59
その他	651	479
流動資産合計	7,459	7,124
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,641	3,538
土地	2,376	2,377
その他(純額)	2,088	2,723
有形固定資産合計	8,106	8,639
無形固定資産		
	28	25
投資その他の資産		
その他	1,049	880
貸倒引当金	△28	△27
投資その他の資産合計	1,021	852
固定資産合計	9,157	9,517
資産合計	16,616	16,641
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,506	3,472
短期借入金	858	907
1年内返済予定の長期借入金	2,733	2,482
未払法人税等	—	14
賞与引当金	50	80
その他	1,414	1,292
流動負債合計	8,562	8,250
固定負債		
長期借入金	4,415	5,133
資産除去債務	42	42
その他	1,110	1,044
固定負債合計	5,568	6,220
負債合計	14,130	14,470

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	897	897
利益剰余金	746	408
自己株式	△116	△116
株主資本合計	2,736	2,398
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	△15
為替換算調整勘定	△580	△558
その他の包括利益累計額合計	△583	△573
新株予約権	26	44
少数株主持分	306	302
純資産合計	2,486	2,171
負債純資産合計	16,616	16,641

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	7,228	7,206
売上原価	6,321	6,398
売上総利益	906	808
販売費及び一般管理費	1,066	1,047
営業損失(△)	△159	△239
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	11	2
持分法による投資利益	—	2
助成金収入	26	4
その他	48	31
営業外収益合計	92	47
営業外費用		
支払利息	109	99
為替差損	70	49
持分法による投資損失	16	—
その他	13	23
営業外費用合計	209	172
経常損失(△)	△276	△365
特別利益		
投資有価証券売却益	2	40
固定資産売却益	—	31
特別利益合計	2	72
特別損失		
固定資産除却損	86	0
投資有価証券売却損	3	8
投資有価証券評価損	—	39
災害損失	16	—
特別損失合計	106	48
税金等調整前四半期純損失(△)	△381	△341
法人税等	△106	12
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△274	△353
少数株主損失(△)	△14	△16
四半期純損失(△)	△259	△337

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△274	△353
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19	△12
為替換算調整勘定	132	28
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	5
その他の包括利益合計	109	21
四半期包括利益	△164	△332
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△196	△327
少数株主に係る四半期包括利益	31	△4

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△381	△341
減価償却費	526	493
株式報酬費用	9	17
賞与引当金の増減額 (△は減少)	257	30
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△17	△8
支払利息	109	99
為替差損益 (△は益)	55	21
持分法による投資損益 (△は益)	16	△2
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△31
有形固定資産除却損	86	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	1	△31
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	39
災害損失	16	—
売上債権の増減額 (△は増加)	388	248
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△120	△116
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,677	△35
未収入金の増減額 (△は増加)	△1	△20
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△35	33
その他	△19	12
小計	△787	405
利息及び配当金の受取額	17	8
利息の支払額	△115	△96
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△276	134
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,162	452
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△452	△1,149
有形固定資産の売却による収入	—	62
無形固定資産の取得による支出	△0	△1
投資有価証券の取得による支出	△27	△0
投資有価証券の売却による収入	24	225
投資有価証券の償還による収入	7	—
貸付けによる支出	—	△142
貸付金の回収による収入	0	0
その他	4	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△443	△1,006

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100	49
長期借入れによる収入	1,800	1,849
長期借入金の返済による支出	△1,740	△1,388
社債の償還による支出	△175	△25
セール・アンド・リースバックによる収入	79	439
リース債務の返済による支出	△189	△251
自己株式の取得による支出	△110	△0
配当金の支払額	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△235	673
現金及び現金同等物に係る換算差額	29	△7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,811	112
現金及び現金同等物の期首残高	5,462	2,291
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,650	2,403

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。